

鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和2年度（2020年度）第1四半期実績評価

1 美術館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

- ・第1四半期の来館者数は、329人で、前年度同期(6,419人)と比べ6,090人・約94.9%の減であった。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月1日から6月8日まで臨時休館となったことや、再開館後も換気・清掃等のため、時間制限を設けたことにより、来館者数が減少した。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・設備機器点検を行い、設備の管理を的確に実施した。
- ・季節に応じた庭園の管理を行った。

● 施設の運営

- ・チラシやポスター等を作成し、周知に努めた。
- ・窓口における受付、施設案内等を適切に行った。
- ・ツイッター等のSNSを活用し、美術館の宣伝強化に努めた。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務

● 展示・その他事業

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月1日から4月12日まで実施予定だった企画展と、4月16日から5月20日まで、5月23日から6月28日までに実施予定だった特別展は開催しなかった。
- ・再開館後の6月9日から6月28日までは、新たに企画展を実施した。
- * 展示替 48作品 48点の展示(6月)、48作品 48点の展示(6月・7月4日からの展示分)
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展示解説は実施しなかった。
- ・第1四半期は普及事業として、子ども参加プログラム「春休み親子鑑賞」、親子・子ども参加プログラムが予定されていたが、臨時休館により、中止となった。

● その他必要な業務

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入館者の検温や、館内の換気・清掃等を行った。
- ・鏑木美術品の調査研究を行った。

4 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務

● 収集・保管

- ・作品等の保管や展示の状況確認を6月17日に行い、結果は良好であった。

● 調査・研究

4月

- ・アウトリーチ教材についての調査
- ・江戸末期～大正の横浜・金沢に関する資料調査
- ・清方の随筆における遊心庵の記述に関する調査
- ・『婦人画報』の口絵・挿絵に関する調査
- ・幸田露伴『天うつ浪』に関する調査
- ・清方執筆記事・文章に関する調査
- ・清方の女性の弟子の画業についての調査
- ・清方と挿絵師達との関りについての調査
- ・昭和30年代の日本画に関する調査

5月

- ・遊心庵で清方が描いたスケッチについての調査
- ・清方の野洲の旅についての調査
- ・三遊亭圓朝の幽霊画についての調査
- ・『婦人画報』の口絵・挿絵と清方執筆記事の調査
- ・中世～近代の着物に関する調査
- ・清方執筆記事・文章に関する調査
- ・清方の弟子の昭和における制作の調査
- ・昭和の女性画家についての調査

6月

- ・中世～近代の着物に関する調査
- ・『婦人画報』に関する調査
- ・和装についての清方の記述の調査
- ・清方とともに遊心庵へ行った人々についての調査
- ・《水汲》に描かれた植物についての調査
- ・横浜・金沢の史跡についての調査
- ・清方門下の女性弟子の画業の調査
- ・郷土会出品作の全体的傾向についての調査
- ・青衿会についての調査

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている。
(4月分：5月14日、5月分：6月10日、6月分：7月10日提出)
- ・休館情報や再開館に伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。

● 事故・苦情対応

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入館者カードに連絡先等の記入を求めているが、このことに対する苦情があった。

● その他

特になし

6 全体評価

- ・第1四半期の来館者数は329人で、前年度同期(6,419人)と比べ6,090人・約94.9%の減となっている。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月1日から6月8日まで臨時休館となったことや、再開館後も換気・清掃等のため、時間制限を設けたことにより、来館者数が減少した。
- ・臨時休館に伴い、特別展を中止し、再開館で新たに企画展を実施するにあたり、現在の状況と関連させ大きな社会危機の中に生きた清方の芸術の自律性と発展、変容に焦点を当て、企画していた。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、利用者の利便性向上や事業内容の充実、発信方法検討に取り組まれたい。
- ・調査・研究について、今期指定管理者選定委員会からも、図録作成などの成果を示していることに一定の評価をいただいている。評価された調査・研究の成果を市民等より多くの方々に伝えていくよう積極的に取り組まれたい。
- ・施設の維持管理業務に関しては、日常点検を始め、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。

鎌倉市鎌木清方記念美術館 令和2年度第1四半期判定評価

評価項目	判定点	第1四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	-	※1
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	※2
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 鎌木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報は適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0
総 計	122		

実施されている場合・・○ 実施されていない場合・・×

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月1日から6月8日まで休館し、来館者数が減少したが、これは不可抗力によるものとする。

※2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月1日から6月8日まで休館したため、事業計画を変更して、令和元年度から継続の企画展、特別展1・2を実施せず、再開館後企画展を実施している。

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%